

町のうごき 広報

町のうごき

本籍数	4,505
本籍人口	14,764
世帯数	3,478
住民登録人口	13,629
内 男女	6,561 / 7,068

7月1日現在

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王) 1. 42. 135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875) 2038



急ピッチで 道路整備 進む

すでに四路線が今年度分を終了

本町の農道整備、舗装事業が急ピッチで進められています。今年度は、昨年から工事に取リかかっている大崎地区の千六百三十m、渋谷地区の千二百六十mと今年度から二カ年計画で完成される羽立地区(松淵(羽立片山間)の九百九十七m、中羽立地区(中羽立(不動台間)の五百七十三m、児玉地区(不動台(江川間)の用地買収延長千九百mと工事延長七十四m、北野地区(上北野(大長根間)の七百六十mの六路線で、すでに大崎、渋谷、羽立、中羽立地区が今年度分を終え、北野、児玉地区は、今月発注する予定です。

この六路線の工事費は、請負費に用地買収費などを含めて、約三千四百七十五万円。

また、当初予算に計上されていた町単事業の追分長沼二号線、二田九号線、二田持谷地上江川線、大崎線の四路線は、舗装工事が完成しています。

町の重点事業のひとつとして進めてきた、道路整備事業も湖岸地区の農免道路をはじめ、四十一年から四十五年までの道路整備五カ年計画を終了。五十年までには本町の主要道を全線舗装する計画です。

▲農道をアスファルトで舗装する (七月五日羽立地区で)



昭和四十四年本町の余剰労働力を活用し、町経済の助長をはかり、豊かな心を養成し、住みよい郷土建設の一施策として、県と町が議会の協力を得て誘致した秋田セイコー電気(株)が種々の要因により、去る七月二日工場閉鎖のやむなきにいたりましたことは、あまりの突然のことであると同時に残念でなりません。

債権者会議を見守り問題に対処

ちなみに、今いろいろの話題を呼び、波紋をなげかけておりますが、町としては、七月十日に議会の全員協議会を開き、①町の所有物である建物(町名義で所有権登記済)の管理方法は、②誘致工場に対し、町としては今後、どう対処すべきか。――の二点につき、協議を重ねた結果、

①秋田セイコー電気(株)と町が建物に関し、貸借の契約を交わしている現在、直ちに契約を破棄せず、債権者会議の推移を見守ってからこれに対処する。②工場再建を原則として、今後の経過を見きわめつつ、改めて協議会を開いて検討する。――との意見でありました。私は、この基本線に従いがい、今後の債権者会議の推移を見守りつつ、この問題に対処いたし

④アメリカ経済の停滞による輸出不振により、弱電業界が大きな打撃をうけたこと
内部的要因として
⑤経営の弱体 ⑥労使間の不信感 ⑦労務管理のあり方――等の問題であると思いますが、最大の原因は「労使の不信感」にあると痛感しております。およそ、相互の信頼なくして何事も不可能であることは明白であります。また、町の誘致工場であるという原則に立ち、会社側も働く人々も第三者に相談することもなさることながら、なほもっと早く私に真実を打ち明け、相談してくれなかったか。この点、直前にいたるまで知らされなかったことは、かえりながら

秋田セイコー電気株 工場閉鎖に思う

天王町長 藤原慶三郎

係者はもちろん、私も夢にも思わなかったのが事実であります。しかし、それが現実になり、労賃の不払い、商取り引きの停止、こげつきと正に最悪の結果を生じ、関係町民各位に、多大のご迷惑をかけておりますことは、誠に残念であり、私自身、道義的責任を痛感すると共に、心から深くおわび申し上げる次第です。

原因は労使の不信感

なぜ、このような結果を生じたかは、直接経営にタッチしておらないのでわかりませんが、外部的要因としては

も改革すべき点が多々あったと思いますが、働く人たちも、今一度冷静になり、反省して欲しいと思います。
労使共々、正しい理論をもちながら、ひとつひとつ、一歩一歩、話し合いをおし、お互いに誠意をもって時間をかけて解決する方法を考えるべきで、なかつたらうかと……
……(第三者としての考え)

教訓、経験を生かし今後にあたる

天王町は将来、農業から脱皮し、ますます工業化が進められ

えすも残念でなりません。たとえ、相談され、いろいろ手を尽くし、そして同じ結果を招いたにしても、そこに一種のあきらめが生まれるはずであります。いまは、まったくあきらめきれない気持ちでいっぱいです。

労使ともに冷静に反省を

工場が閉鎖された今日、働く人々は多少の不平不満があったにせよ「工場がないよりは、あった方がよかった」というのが実感であると思います。事業も人生もなかなか思うように、また理論どおりいかないのが現実の社会です。会社側に

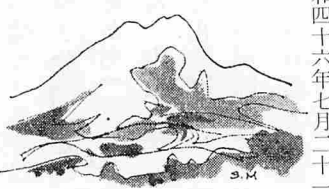
本町が、かつて経験しなかつたこのたびの件は、いろいろの意味で、私自身にも、また天王町民にも教多くのことを教えてくれました。
町民も冷静に事実をは握し、一方的な意見にまどわされることなく、判断を誤らぬよう、くれぐれもお願いたします。

最大の努力で損害を最少限に

私は、この教訓、経験をもとに、二度とこのような事を繰り返さぬよう、今後の再建ならびに誘致に、じゅうぶん配慮いたす覚悟です。

ていくのは、必至の状態であります。工業化により、農村の良き々心の美しさ々が失われることがあるとすれば、工場誘致も大いに考え直す必要があると思えます。いくら経済が豊かになっても人の心がすさんでは、何にもなりません。

私は、町民に少しでも豊かな経済力と豊かな心を持たせ、平和な明るい郷土を建設したい一心で、工場を誘致したのであります。しかしながら、セイコー電気(株)の件を見ると、多くの人々の心が傷つけられ、痛めつけられております。なんのための工場誘致であったかと思う時、心寂しくもなります。



(昭和四十六年七月二十一日日記)

町商工会 珠算の合格者を発表

町商工会では、六月六日に天王中学校で行なった第二十八回全国商工会珠算検定試験の合格者を、このほど発表しました。受験者百五名のうち合格者は一級の後藤祥子さんはじめ、二十八名となっている。合格者は次のとおり。

- 【一級】 後藤祥子(天王小)
 - 【二級】 菊地睦子(出戸小)
 - 【三級】 小林美智子(天王小) 安宅美根子(同) 吉田浩典(大崎) 畠山浩美(同) 佐々木悦子(出戸小) 安田日出子(同)
 - 【四級】 高橋忠夫(出戸小)
 - 【五級】 古山正彦(出戸小)
 - 【六級】 藤原祐一(天王小) 下田学(出戸小) 菅原千寿子(同) 菊地輝美(同) 出口千鶴子(同)
 - 【七級】 進藤由紀子(大崎) 三浦蘭子(同) 中山ひとみ(出戸小) 原田美津子(同) 佐々木真由美(同) 菊地文子(同)
 - 【八級】 三浦照子(天王小) 薄田由美子(同) 三浦善広(大崎) 佐々木秀人(出戸小) 菊地ぐみ(同) 伊藤剛(同) 菊地文子(同)
- なお、次回の試験日は十一月二十一日。応募しめ切りは十月二十二日です。

新成人は三三二一人

お盆の十五日に成人式

「新成人のみなさん、おめでとうございます。町では、みなさんの新しい門出を祝う今年度の成人式を、お盆の八月十五日午後三時から、町公民館で行ないます。」

当日は、ゲームソング、キャンソング、フレイヤーなど、多彩な日程が組まれ、帰宅のためのバスも町で準備しますので、さそいあって出席し、みんなで楽しい一日を過ごしてください。

この成人者名簿から取られている方は、町公民館へお問い合わせください。

成人者名簿

- 【塩口】 石川善太郎 桜庭和子 米谷裕 木元友子 桜庭幸晴 丸谷均 丸谷信子 丸谷春雄 桜庭敏身 桜庭令子 桜庭トキ子 丸谷実 桜庭茂子 桜庭菊蔵 桜庭幸子 桜庭滝子 石川利枝 桜庭正男 間杉勝治郎 桜庭優子 桜庭チサ子 丸谷ヨシ子 桜庭鉄美 木元角広
- 【中羽立】 渋谷信子 菅生勇 菅生ヒサ子 菅生妙子 菅生孝司
- 【羽立】 鈴木信子 安田好武 安田堅 目黒久雄 安田トモ子 工藤マサ子 安田ミチ子 根チタ子 安田礼子 菅生周一 鈴木恵美子 安田ツヤ 鈴木菊男 鈴木昭子 長谷山敏幸 鈴木キミ子 安田貢 嶋崎勉 安田栄子 安田順子 安田トヨ子 武藤与四郎
- 【渋谷】 渋谷昭子 桜庭寿雄 丸谷友富美 石川久米一
- 【天王】 大沼旬子 石川哲典 佐々木達代 児玉弘 安田マキ子 吉
- 田裕紀子 戸田昇二郎 越後礼子 村山琴子 田仲雅美 佐々木牧子 佐々木ユリ子 柏崎和子 鎌田正孝 柏崎栄子 金子寛治 伊勢谷和子 柏崎タマ子 西村幹子 米谷由美子 三浦純子 金子美紀子 鎌田喜美雄 安田ムツ子 村山フサ子 村山マチ子 石黒恭子 三浦りよ子 柏崎千穂 柏崎裕子 佐藤生悦 石川正志 石黒久 柏崎金博 京谷喜江子
- 【江川】 藤原雄幸 藤原久美 藤原哲春 藤原悦子 石井正子 濱藤幸作 児玉るい子 藤原クミ子 伊藤千喜子 藤原ヨヨ子 藤原みさ子 藤原喜代美 青山均 伊藤祐子 三浦誠司 伊藤千鶴子 田村良文 菊地秀昭 藤原ひろみ 工藤祐一 工藤秀子 伊藤寛之 伊藤広
- 【兄玉】 佐藤優子 佐藤兼正 松村武菊地正美 笹岡美喜子 橋本百合子
- 【大崎】 三浦あけみ 三浦信男 三浦雪子 加藤谷幹雄 三浦正義 三浦辰美 吉田新憲 三浦えみ子 和田勝雄 宮城健悦 三浦

- たみ子 三浦キンエ 三浦栄子 三浦貞一郎 菅原けい子 下間政子 吉田靖彦
- 【二田】 小柳富貴子 武田千英子 小柳勝春 村井恵美子 沢口博北野勇 三浦茂樹 中村成光 小沼博 山田政雄 黒川美和子 眞壁砂夜子 加藤洋子 谷寛 越後谷隆子 天野公雄 佐藤寿子 伊藤清彦 鈴木孝子 伊藤清美 佐藤紀美子 大関栄子 加藤百々子 眞壁忠 遠間厚 桜庭一義 畠山やす子 藤原正三浦均 安田照美 三浦由美子 伊藤寿朗 伊藤昇 目黒繁
- 【鶴沼合】 工藤茂 成田ミヤ
- 【蒲沼】 鎌田金孝 眞坂仁子
- 【下出戸】 加賀谷新市 佐々木玲子 加賀忠吉 佐々木正子 佐々木悦男 佐々木松弘 佐々木美保子 加賀谷義友 佐々木豊昭 佐々木鈴子 加賀谷マリ子
- 【出戸新町】 安田勇 武田節子 伊藤良子
- 【細谷】 佐藤清幸 薄田一 菅原良子 菅原徳志 菅原佳雄
- 【上出戸】 菊地朝子 菊地正和 笹岡春己 菊地正喜 渡部成富 菊地ヨシ子 鈴木寿 菊地友子 菊地英世 金純 菊地豊子
- 【追分西】 池端健一郎 水井甚誠 奈良岡義浩 中田麻利子 保坂範子
- 【北野】 戸田節子
- 【追分】 伊藤真知子 徳原賢一 中田正子 中田郁子 成田憲康 菅原正子 佐々木滝夫 柴田司子 鳥井志生子 三浦洋子 菅原清安田俊子 長谷川政司 山口明子
- 【アキタ電子】 佐藤久子 菊地ユキ子 石川悦子 黒沢セツ子 佐藤秀子 阿部米子 菅原利美子 戸島み

税額明細は中旬頃に通知

納税貯蓄組合員の四十六年度町税税額明細は、納税貯蓄組合から今月の中旬頃、組合員に個人別に通知されますので、次の点に留意し、各組合の集金にご協力くださるようお願いいたします。

(一) の明細表は、四十六年度内みなさんが組合をとおして納付する町税の合計額です。(ただし、月割課税分は入っていません)

(二) 内容は町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の四つの税金の合計です。

(三) 合に配布される税額表は納税貯蓄組合が集金しや

- どり 後藤欣子 俵谷良子 工藤しげ子 大和谷千穂子 佐藤清子 川口右吉 北林妙子 菅生和子 三浦文男 吉田正子 石井正一 池田ミサ子 松沢友子 小玉ふき子 菊地恵子 打矢祥子 山田礼子 男鹿治子 小西真由美 赤川美代子 田村祐子 高橋恵子 高橋すみ子 高坂律子 館田セツ子 佐藤セツ子 小林晴海 賢木昇 羽角雄一 遠藤昌勝 中居隆文 鎌田益夫 渡辺博三 畠山政子 越中靖子 佐藤敏子 山岡美和子 佐々木あさ子 石井邦子 須合孝子 奈良喜美子 三浦綾子 小木田富子 阿部美穂子 鈴木涼子 菅原かよ子 瀬下喜美子 柴田喜代子 金田一精子 須藤ちさ子 阿部早智子 田中弘子 工藤伸子 池田秋子 池田加代子 木内京子 五十嵐好子 梅沢良子 藤田ユキ子 藤原昭子 熊谷智子 斎藤まり子 村上節子 斎藤なり子 佐々木洋美 富沢ユミ子 武田金子 後藤テイ子 椎名恵子 佐藤勝子 岩川洋子 長嶋真理子 高堰晴美 小野恵子 伊藤敏子 藤田弘子 佐々木保子 志村ヤエ子 檜森和子 田中成子 菊地ケイ子 細谷くに子 高橋れち子 薄田由則 山内啓子 畠山ミネ子 熊谷正子 畠山幸子 小野昌子 小野久 畠山正範 小杉代継 大関ミヤ子 中嶋英子 奈良アサ子 長浜守子 伊藤久美子 太田玉子 中村和子

税金はみんなのために使われる

国や地方公共団体は、道路や住宅をつくらたり、学校を建てたり、生活に困っている人の援助をしたり、いろいろな仕事をしています。

このような仕事に使われるお金は、大部分がみんなが納めた税金でまかなわれています。

昭和四十六年度の国の一般会計予算は、約九兆四千四百三十三億円で、このうち約九割が税金です。

みんなの納めた税金は、国のいろいろな仕事を通じて、みんなの生活をより豊かにするために使われています。

これを税金千円あたりの使いみちしてみると、昭和四十六年度予算では次のようになります。

★国民の健康や生活を守るため 一七九円 ★住宅や道路などの整備のため 一七七円

青少年の非行はひとつではない!

◇家庭ではあたたかい対話
◇職場でもあたたかい配慮
◇みんなで気をつけて、また話して成長を助けて、青少年の明るい未来を育みましょう。

町保護司会

町民運動会は八月二十二日(日)に行なわれます。多数参加してください。

投票率低い20歳代

6月27日の参議院選挙

参議院議員通常選挙が6月27日に行なわれた。当日は、初夏とはいえはだ寒い
天気で、有権者の出足も鈍く投票率は59.39にとどまった。

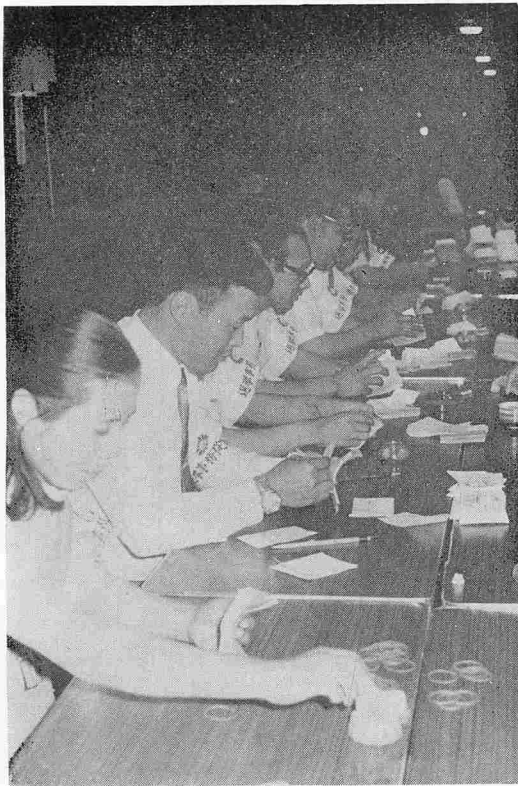
宮崎	正義	(公)	六四四票
堀木	又三	(自)	六一三票
村上	コウタロー	(自)	四九五票
塚田	大願	(共)	二二五票
安西	愛子	(自)	一七七票
野々山	一三	(社)	一六六票
野上	元	(社)	二二五票
望月	優子	(社)	一一三票
西村	尚治	(自)	一一五票
平泉	渉	(自)	九五票
一童	斉テイホ	(自)	九一票
水口	宏三	(自)	九〇票
片山	正英	(自)	八八票
小林	章	(自)	八四票
鹿島	俊雄	(自)	八三票
岡本	悟	(自)	八二票

秋田県選出議員	投票総数	五、一五五票
有効投票	四、八〇〇票	
無効投票	三三五票	
全国選出議員	投票総数	五、一五五票
有効投票	四、七五九票	
無効投票	三九六票	
土肥大四郎	(自)	二、五一九票
沢田 政治	(社)	一、七三一票
小林やすお	(共)	五五〇票

選挙区	有権者数	投票者数	投票率
天王	1,643	892	54.29
江川	664	359	54.07
塩口	603	389	64.51
羽立	720	464	64.44
大崎	710	444	62.54
二田第一	1,239	770	62.15
二田第二	796	446	56.03
出戸	969	595	61.40
追分	1,336	796	59.58
計	8,680	5,155	59.39

投票区別の投票率

町民の政治への参加をスロー
 伊部まこと (社) 八〇票
 鈴木 力 (社) 七八票
 ひがき徳太郎 (自) 七二票
 山崎 昇 (社) 七一票
 石本しげる (自) 六四票
 横山フク (自) 五六票
 栗林 卓司 (民) 五一票
 戸枝 義明 (社) 五〇票
 以上、五〇票以上の得票者。
 小数点以下は切り捨て。
 ガンにスタートした今回の選挙だが、依然として投票率が悪く町選管では、投票結果を分析し有権者の選挙への関心を高めようとして検討している。
 分析した結果を年齢別にみると、二十歳代の若い層が一番悪く、次いで七十歳以上の高齢者となっており、今後の啓発活動は、この若い層を重点的に行なう方針である。



▲真剣な表情で各候補者別に得票数を計算する事務従事者たち

赤ちゃんには母乳が一番

本町では80%近くがミルク
 町では、昨年一年間の赤ちゃんの健康相談と検診から、栄養方法はどうかになっているかを調べてみた。
 母乳栄養、人工栄養、混合栄養とを比較し、円グラフで表わしてみた。生まれて一〜二カ月頃に半分近くを占めているミルクは、十二カ月頃には、さらに多くなり、十人のうち八人までがミルクで育てているという数字がでました。しかも、この傾向が五〜六カ月頃には、もうはつきりあらわれています。

警察官採用試験

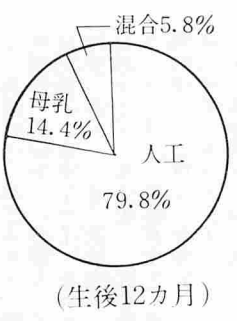
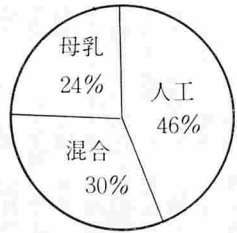
ただいま受け付け中
 このほど、昭和四十六年度の秋田県ならびに埼玉、千葉、警視庁、神奈川県、静岡県、警察官の採用試験が本県と合同で実施されることになり、その受験申し込みの受け付けが七月二十日から行なわれています。
 試験実施日程、受験資格などは次のとおり。
 ●受け付けおよび試験日程
 ▼受け付け期間 十月五日まで(男鹿署では、夜間でも受験願書を交付しています)
 ▼第一次試験 十月十日(日曜日)秋田市の高校
 ▼第二次試験 十月下旬、県警察学校
 最終合格発表は、十一月下旬

●採用予定数
 ▼秋田県 五十名 ▼埼玉県 八名 ▼千葉県 七名 ▼警視庁 三十五名 ▼神奈川県 二十名 ▼静岡県 五名
 本県以外の各県では、本県からの採用予定人員です。
 ●受験資格
 ▼年齢 昭和四十七年四月一日現在で、十八歳以上二十八歳未満の者
 ▼学歴 高校卒業以上の学力を有する者
 ▼体格 身長一六〇cm以上 胸囲七八cm以上 体重四七kg以上 視力は裸視力一・〇以上 矯正視力一・〇以上の者
 その他詳しいことは、お近くの駐在、派出所または男鹿署警務係にお問い合わせください。

このように、母乳で育てることが少なくなりましたが、決して好ましい現象とはいわれなれないと思います。
 母乳は①質的に赤ちゃんの栄養にピッタリあっている。
 ②消化がよく、吸収がすぐれている。
 ③消毒の必要がなく衛生的である。
 ④用意する手間がかからない。
 ⑤適温が保たれる。
 ⑥経済的である。
 ⑦親子の精神的なつながりがある。――など多くの利点をもっているのですから、おかあさん方にはもともと母乳で育てることをおすすめします。

飲ませ方としては、母乳であれば、おかあさんは必ず抱いて飲ませますが、これがまた、赤ちゃんにとっては最適な状態だといえます。そこで、たとえミルクであっても、おかあさんの暖かさを感じてもらえるよう、抱いて飲ませるようにしましょう。せつかくおかあさんが、そばについていてもミルクを寝かせたまま飲ませている姿をよく見受けますが、これでは、赤ちゃんがさびしがっているのではないでしょう。

母乳、人工、混合栄養の利用割合



改善された福祉年金



国民年金法の一部を改正する法律が、三月三十日に公布された。

福祉年金の改善は毎年行なわれていたが、今回は各福祉年金額を三百円アップするほか、所得制限の緩和、寝たきり老人に六十五歳から老齢福祉年金を支給するなど、大幅に改善されました。

おもな改善内容は次のとおり。

老齢福祉年金

福祉年金の額が、四十六年十一月分から、それぞれ月額三百円アップされ、月額で老齢福祉年金が二千三百円。障害福祉年金が三千四百円。母子福祉年金が二千九百円になります。

所得制限、限度額を

本人の所得制度の限度額が、現行の三十二万円から三十五万円に引き上げられました。また孫や子、弟妹がいる場合の加算額が十万円から十二万円に引き上げられました。

「炎天」

追分西 渡部 六愁

谿の水ひいて大きく孕む稲
夏材の集積されし映あかり
病葉の落ちて水面を乱しけり
叱られた子にも理があり俄か
雨
青もみじの蔭に 一列兵の墓
彫り師樹を観音にして夏とも
す
望郷の汽笛こたます濃き青葉
俄か雨人形巡査づぶぬれに

上げられました。

扶養義務者所得制限については、これまでの引き上げ率十五％程度を三二・六％と大幅に引き上げ、さらに各種控除額も引き上げられました。扶養親族の数が五人の場合の限度額が、百四十三万九千円になり、この所得制限の緩和は、四十六年度分の所得について適用されます。

併給制限の緩和

戦争公務による扶助料との併給制限は、従来は一定の基準額を定めて、その基準額に満たないときに一部支給してきましたが、今回の改正で、準士官以下の旧軍人およびこれに相当する旧軍属に係る扶助料の受給者等

老齢福祉年金

政令で定める者には、四十六年十月分から福祉年金が全額支給されることになりました。

障害者には、65歳から

身体などに障害があつて、国民年金法の二級に該当する程度の障害者には、現行では七十歳から支給して、老齢福祉年金を六十五歳から支給することになりました。これは、四十六年十一月分から実施されます。

一級程度の障害のある方は、障害福祉年金を受給できますので、保までご連絡ください。

※七十歳以上で、老齢福祉年金の裁定手続きをしていない方は(戦争公務以外の年金や恩給受給者を除く)手続きをするよううにしてください。

統計グラフの作品を募集

県では、第二十二回秋田県統計グラフコンクール作品を次のとおり募集していますので、どしどし応募してください。

- 主催 秋田県 県統計協会、県教育委員会
- 応募資格
 - 第一部 小学校児童
 - 第二部 中学校生徒
 - 第三部 高校生
 - 第四部 一般上の生徒、学生

3 課題は、各部とも自由。ただし、(1)第一部(小学校児童)の作品は、児童が観察した結果をグラフにしたもの。(2)第二部(中学校の生徒)の作品は、既存統計の利用、または生徒が観察した結果をグラフにしたもの。

4 材料の規格

第一部、第二部の用紙規格は七十二・八cm×五十一・五cm。

第三部、第四部の用紙規格は、百三cm×七十二・八cm。ただし各部とも紙質、色彩(単色にても可)は自由とするが、裏面の板張り、または表面にセロハンカバーをつけることは認めない。

誕生おめでとう

(六月中)

慶弔だより

児玉	薄田	御休下	上沖中谷地	追分西	天
上江川	長村	江川	石黒	沼田	石
天	中	天	伊藤	長	伊藤
宮の後	石黒	沖中谷地	伊藤	沼田	沼田
二	二	天	鎌田	長	鎌田
ハラヘ	ハラヘ	下出戸	佐々木	長	佐々木
塩	長	上	菅	長	菅
江	長	天	真	長	真
ハラヘ	長	追分	茂	長	茂
羽	長	追分	忠	長	忠
天	長	上	裕	長	裕
羽	長	長	文	長	文
立	長	長	浩	長	浩
	長	長	美	長	美

は、その取材資料の出所も明記すること。(4)応募点数については制限しないが、応募作品が二枚以上にあたるシリーズものは認めない。

8 入賞発表 入賞者の発表は九月下旬、第一部、第二部、第三部については所属校長あて、第四部については本人あて直接通知する。

9 その他

①賞状および賞品は、第二十二回秋田県統計大会で授与する。

②作品の送付については、必ず作品とは別に送付目録を送付すること。

③不明な点は、秋田県総務部統計課または役場統計係にお問い合わせください。

夏の交通安全 運動は八月一日〜十日まで

「スローガン」

安全運転で快適な夏を過そう

「重点推進目標」

①こどもと老人の被害防止

②酒のみ運転と過労運転の追放

おくりやみ申上げます

羽立菅生	チナ(77才)
江川藤原	チヨ(61才)
北野熊谷明男	(50才)
上北野佐藤ナチ	(78才)

塩城目口	八加藤
五城戸	柳
下京	久
東出	ハツ
佐々木	ツエ
上沖中谷地	
秋田	陸
静岡	義
静岡	潤
男鹿	サチ
五城目	富美
山形	功子
八郎	栄
男鹿	邦通
羽田	裕
秋田	清
北海	和
北田	俊
秋田	洋
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野
北田	玉
北田	橋
北田	井
北田	上
北田	庭
北田	下
北田	湖
北田	賀
北田	中
北田	後
北田	浦
北田	藤
北田	野